

1 はじめに

昨年度は新型コロナウイルスが流行し休校や分散登校などにより、満足に集会活動が行うことができなかった。そこで、今年度は「学校を元気にする特色ある児童会」のテーマを基に、これまでの「例年通り」の集会ではなく、事務局委員会を中心として、今できる新しい形での集会活動を児童とともに考え実践した。

2 資料

児童会（事務局委員会）主催の活動

児童会を中心とした主な活動は、下表の通りである。

＜令和3年度の主な活動＞

月	活 動 内 容
4	・1年生をむかえる会 ・毎週火・金の挨拶運動 ・ペットボトルのキャップ回収 ・プルタブの回収
6	・青少年赤十字登録式 ・創立記念集会 ・いじめゼロフォーラム
10	・ユニセフ募金 ・赤い羽根募金 ・運動会のスローガン決め
12	・校内年賀状
2	・4年生に向けた委員会紹介（予定）

通
年

(1) いじめゼロフォーラムの実施（今年度からの新規行事）

「児童一人一人が友達と仲良くし、楽しく元気に学校生活を送ることができるようにする。」ことをねらいとして実施した。各学級でビデオやスライドなどを使って学級担任が指導した後、児童一人一人がいじめに対して考え、「いじめをなくすために自分にできること」や「いじめが起こらない学級にするために」など未然防止の観点から取り組めることを専用用紙に記入した。その後、各学級でいじめについての行動宣言を話し合い模造紙にまとめ、全児童が毎日必ず通る昇降口に掲示して、いじめ未然防止についての意識啓発を行った。

(2) 創立記念集会の実施（今年度からの新規行事）

宮田小学校の歴史を理解することを通して、愛校心を養い、元気で明るい生活を送り、所属感を高めることをねらいとして企画した。宮田小の自慢を各学年の代表が発表するとともに、全児童が宮田小の良いところを書いたミニカードを貼り合わせ校章のコラージュを作成した。校章コラージュを昇降口に掲示して、学校への所属感や愛校心を高めるための手立てとした。



3 成果と課題

- ・コロナ禍でも新規の集会活動を子どもたちが主体的に考え、実施できたことは大きな自信につながった。
- ・全校児童で集まることができず、放送による実施になった集会もあったが、円滑に効果的に進行することで、各集会活動でのめあてを達成することができた。
- ・来年度は放送による集会活動ではなく、タブレットを活用しオンラインでも実施する。